

岡山芸術交流 2025 開催に向けた機運醸成のため 岡山市役所本庁舎に現代アートを展示します

多くの市民や市職員に現代アートをより身近に感じてもらうために、岡山市役所本庁舎の1階にて現代アート作品の展示を行います。この取り組みは、岡山芸術交流2025のアーティスティック・トランスレーターを務める島袋道浩氏が実施するプログラムの一環です。

1 概要

場所：岡山市役所本庁舎1Fエレベーター前(北区大供一丁目)

日時：6月30日(月)～11月22日(金) 8時30分～17時15分(予定) 平日のみ

内容：岡山市役所本庁舎1階のエレベーター出入口上部に2台のモニターを設置し、映像作品を上映するとともに、柱にキャプションボードを設置します。

作品は、岡山芸術交流2025の閉幕日(11月24日(月・振休))までの平日に上映され、定期的に入れ替えを行う予定です。

初回作品 島袋道浩「白鳥、海へゆく」＜岡山芸術交流2022 出品作＞

ある日、母の故郷の岡山を訪れ、そこに流れる旭川のほとりに立った。
子供の頃、そこで白鳥のボートに乗って遊んだ。その白鳥のボートがまだそこにあった。40年経って何も変わらないまま!
白鳥のボートが旭川のほとりととどまっている間、僕が世界中を旅してきたことを想った。
白鳥のボートに乗って、海へゆくことにした。



Shimabuku, Swan Gose to the Sea, 2012&2014
Courtesy of the artist
Collection of Ishikawa Foundation, Okayama, Japan
© 2022 Okayama Art Summit Executive committee
Photo: Yasushi Ichikawa

■ 展開イメージ

カッティングシート切り文字を貼り付け

モニターを2台エレベーター上部に設置



2 企画内容

- ・ 今回の企画は、現代アートにあまり触れることのなかった市民・県民に興味・関心を持ってもらうため、岡山芸術交流2025に新設された「アーティスティック・トランスレーター」に就任した島袋道浩氏によるプログラムの一環として実施します。
 - ※ 本作は、岡山芸術交流2022で発表されたものです。
 - ※ 島袋氏は岡山芸術交流2025に作家としても参加しますが、本作はその出品作品ではありません。

3 取 材

- ・ 初日6月30日(月)の8時30分から9時まで、島袋氏による取材対応を予定しています。
- ・ 取材を希望される方は、6月27日(金)17時までに、社名・来訪予定人数を、お電話でお知らせください。

4 島袋道浩プロフィール

島袋道浩 (しまぶく みちひろ) | 英語表記: Shimabuku / アーティスト

1969 年、神戸市出身。現在は那覇市を拠点に世界各地で活動。

1990 年代初頭より国内外の多くの場所を旅し、その場所やそこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関する映像、彫刻、パフォーマンス、インスタレーション作品などを制作。その作品は時に生き物と人間との関係にも及ぶ。詩情とユーモアに溢れながらもメタフォリカルに人々を触発するような作風は世界的な評価を得ている。岡山芸術交流 2025 で新設されたアーティスティック・トランスレーターを務め、岡山芸術交流 2016、2022 に続き、岡山芸術交流 2025 にも作家として参加予定。

5 備 考

- ・ 岡山芸術交流は岡山城・岡山後楽園周辺の歴史・文化施設等を会場に、2016 年から3年に1度開催している都市型の国際現代美術展です。
- ・ 岡山芸術交流 2025 では、「①地元への浸透、②子どもの鑑賞、③県外・海外からの観光誘客」を重点取り組みとしています。

Artistic Director : フィリップ・パレーノ / Philippe Parreno

展覧会タイトル : 青豆の公園 / The Parks of Aomame

参 加 ゲ ス ト : 12 か国・28 組

会 期 : 2025 年 9 月 26 日(金) ~ 11 月 24 日(月・振休)

W E B : <https://www.okayamaartsummit.jp/2025/>



【問い合わせ先】

文化振興課 藤野・矢吹 直通086-221-0033